

事故予防について

これから赤ちゃんは、寝返りし、おすわりやハイハイ、つかまり立ちなど毎日成長していきます。また、身の回りのものに何でも興味を示しますが、危険については理解していません。お家の中で起こりやすい事故について今一度、確認しましょう。



溺水

→子どもはたった数センチの水でも、おぼれてしまうことがあります。

ちょっとだから大丈夫という油断が事故を引き起こします。



窒息

→赤ちゃんの手の届くところに、窒息の原因となる、赤ちゃんの口に入る小さなおもちゃなど（32mm 以下）、電池、ビニール袋は置かないようにしましょう。

落下・転落

→落下や転落が予想される場所には寝かさず、赤ちゃんが動いても安全であるよう気を付けましょう。

やけど



→炊飯器やポットの蒸気、熱いままのアイロンに触れたり、テーブルクロスを引っ張り熱いものが入ったコップを倒しやけどを負うことがあります。

お家の中を改めて見てみよう！

安全な場所であると思われる家の中にも、赤ちゃんにとっては多くの危険が潜んでいます。

赤ちゃんを事故から守るためにも家の中こそ注意し、今一度、お家の環境をチェックしてみましょう。

ダイニング→テーブルクロスなど、赤ちゃんが引っ張って机の上から落ちそうな物はないですか？

キッチン→やけどの原因となるコンロや鍋、やかん、ポットや炊飯器の蒸気口などに近づかない対策は出来ていますか？



リビング→テーブル上に、電池やタバコなど誤飲しやすいものは置いていませんか？

浴室、洗面所→洗剤や化粧品など誤飲しやすいものが赤ちゃんの手の届くところに置いてありませんか？浴槽の水を溜めっぱなしにしていませんか？浴室の扉は常に閉めていますか？

トイレ→トイレの蓋は使用後閉めていますか？入口の扉は閉めていますか？



緊急時の連絡先

・小児救急電話相談

365日 午後7時～翌朝8時まで

☎ #8000または052-962-9900

・あいち救急医療ガイド

救急医療情報センター 365日 24時間

☎ 0568-81-1133